

『仙台多文化共生センターだより』

各言語版の「相談員コーナー日本語訳」を紹介します。

2023年度Vol.3のテーマ：引っ越しについて思うこと

英語

(相談員Z)

日本に引っ越してきた時、引っ越しの手続きの煩雑さに驚きました。なぜかという、カナダでは住所が変わっても、役所まで行って書類を提出するなどの手続きを一切しなくていいからです。もちろん、税務局や郵便局などの国営機関には住所の変更を知らせる必要はありますが、ほとんどの手続きはオンラインや電話越しでできるため、対面で手続きをすることはほぼないと言えるでしょう。手続き以外にも、カナダでの引っ越しに関する常識は日本と異なることが多くあります。例えば、カナダで引っ越しをする時は、要らないものを家の前やマンションの共用スペースに置いて、近所の人に引き取ってもらうことができます。そして、粗大ごみという制度がないので、家庭ごみとして出せる物には明確なサイズ制限がありませんが、ソファや冷蔵庫のような大きい家具や家電は個人業者に回収を依頼することが一般的です。さらに、日本では引っ越しをするとき引っ越し会社を雇うのが一般的だと思いますが、カナダでは友達や家族に手伝ってもらう人の方が多いような気がします。

同じ引っ越しと言っても、国によっていろいろ違うところがあると思うので、あらかじめそれを確認してから計画を立てることをお勧めします。

中国語

(相談員M)

引っ越しは新しい経験を得る良い機会だと考えています。特に海外での生活は、異なる文化や環境に触れ、成長のチャンスになります。

日本に引っ越した際、最初は大学の寮に住んでいました。寮では細かい手続きが少なく家具や設備も揃っている環境でした。しかし、寮から一般のアパートに引っ越した時には、まず契約書の日本語も理解できませんでした。日本人の保証人が契約の時に同席してくれていろいろ手伝ってくれました。その後の役所での転出届や転入届、郵便局での

転居届、電気、ガス、水道などの契約の手続きが必要であることを初めて知りました。日本での引っ越し手続きの煩雑さを実感しました。

それから何度も日本で引っ越し経験がありました。子どもがいれば、引っ越しの際には転校手続きも発生します。事前に調べて、必要な手続きを把握することが重要だと感じました。いつから、いつまでに行わなければいけないのかということや必要な書類や注意事項をメモし、手続きのルールも確認して、計画的かつ正確なスケジュールを立てることがとても大事です。外国人にとって引っ越しはチャレンジであると同時に、外国での生活は新しい経験と発見の連続です。異なる文化を楽しみながら、柔軟性を持って新しい生活を楽しみましょう。

## 韓国語

相談員Y

皆さんは日本で引っ越したことがありますか？私は何年も前に一度引っ越したことがあります。その時、引っ越し前に物をたくさん捨てて最小限の荷物だけを新しい家を持って行こうとしていました。なので、大量のごみが出ました。ほとんどのごみは普段通り、ごみを分けて出しましたが、掃除機、布団、ベビーカー、本棚などの大きいごみは捨て方に困っていました。そこで知ったのが「粗大ごみの出し方」でした。「粗大ごみ」というのは一番長い部分の長さがだいたい30cmより長いものです。まず、「粗大ごみ受付センター（022-716-5301）」に電話して粗大ごみの種類やサイズについて説明します。そうすると、受付番号や料金、ごみを出す日、場所などを教えてくれます。そのあと、教えてもらった金額分の手数料納付券をコンビニで買って受付番号を書いて、ごみを朝8時半までに指定された場所に出せば大丈夫です。ちなみに、収集日にはその場になくてもいいです。注意しなければならないのは収集日が何日後になるか分からないので、時間に余裕を持って連絡しましょう。日本語で伝えるのが不安な方は「通訳サポート電話022-224-1919」に電話して相談してください。

## ベトナム語

相談員V

私は来日してからの6年間で3回引っ越しを経験しました。その際に気づいたのは、ベトナムとは異なり、日本では引っ越しに多くの費用と複雑な手続きが要ということ。特に学生が学生寮から外に引っ越すことは非常に大変です。私が日本でアパートを借りる経験や得た知識を共有したいと思います。

まず、アパートを借りる手続きに関連する必要な単語を学ぶと役に立つということです。不動産会社が何を話しているのか理解できるようになり、手続きに戸惑うことが少なくなります。

次に、引っ越しの費用です。ベトナムでは毎月家賃を支払うだけですが、日本では日本

独特の敷金、礼金、保証会社への料金、紹介手数料など、多くの費用がかかります。また、不用品の処分費用、引っ越し費用、新しい家の備品の費用もかかります。私の場合、引っ越した時、新しい家は古い家から10キロしか離れていませんでしたが、300,000円かかりました。引っ越す前に、全ての費用を見積もったほうがよいです。

費用については、次の3つのことが重要だと思います。1：不動産会社にはなるべく早く連絡を取ること。2：家を出る前に家をきれいに掃除しておくこと。3：保証人については、保証会社を使う方法もありますが、費用がかかります。あなたが留学生であれば、学校に保証人になってもらえる場合もあるので、学校に相談するといよいと思います。余計な費用を払うことにならないよう、これらのことに注意してみてください。

以上が私の経験です。これが皆さんの役に立てば幸いです。日本で素晴らしい経験をしてくださいね。

## ネパール語 (相談員B)

私は日本に来てから何回も引っ越しましたが、物件探しはそれほど大変には感じませんでした。不動産会社がたくさんありますので、いろいろな物件を見る事ができました。ただ、引っ越し先が違う市町村の場合、引っ越しの14日以内に区役所で転出の手続きをして、引っ越し先にも転入届が必要です。引っ越しする時に物を置いて行く事が出来ませんのでごみとかも捨てて、部屋を綺麗にしないとお金がかかります。自分が住んでいた部屋を綺麗にしておくことも大事です。壁に釘を打ったら、退去の時に問題になる場合もあります。

母国では、物件を探すのがとても大変です。不動産会社はないので、口コミで探すか、自分で時間を作って探しに行くか、となります。自分の希望や条件にあう物件を見つけるのはなかなか大変です。しかし、転出届や転入届を提出する必要はありません。国内のどこに引っ越ししても問題ありません。私はネパールと比べると日本での部屋探しは簡単に感じましたが、その後の手続きがとても大変だと感じました。皆さんも、日本での引っ越しはわからない事が多いかもしれません。自分の周りに相談出来る所があるかどうか確認し、相談する事がとても大事です。